

Unity Connection for Office 365の設定

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[Office 365](#)

[Unity Connection](#)

[Active Directory DNSドメイン名を選択します](#)

[トラブルシューティング](#)

[確認](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、Microsoft Office 365をCisco Unity Connection(CUC)と統合する手順について説明します。

前提条件

要件

Cisco Unity Connection(CUC)リリース8.x以降に関する知識があることが推奨されます。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、CUCリリース8.x以降に基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

この機能の実装は、『[Unified Messaging Guide for Cisco Unity Connection Release 12.x](#)』に記載されています。

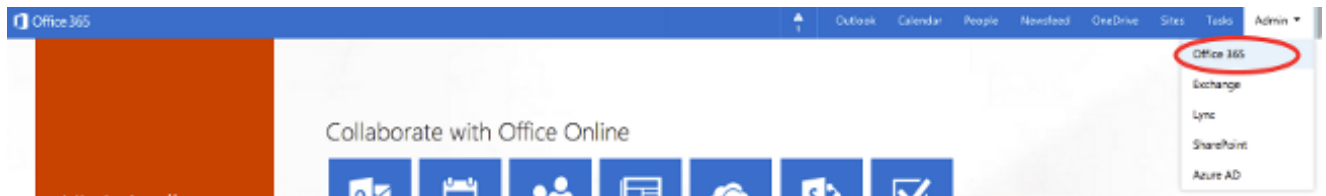
設定

このセクションでは、Unity ConnectionをOffice 365に統合する手順について説明します。このドキュメントでは、最小限必要な手順のみを説明します。

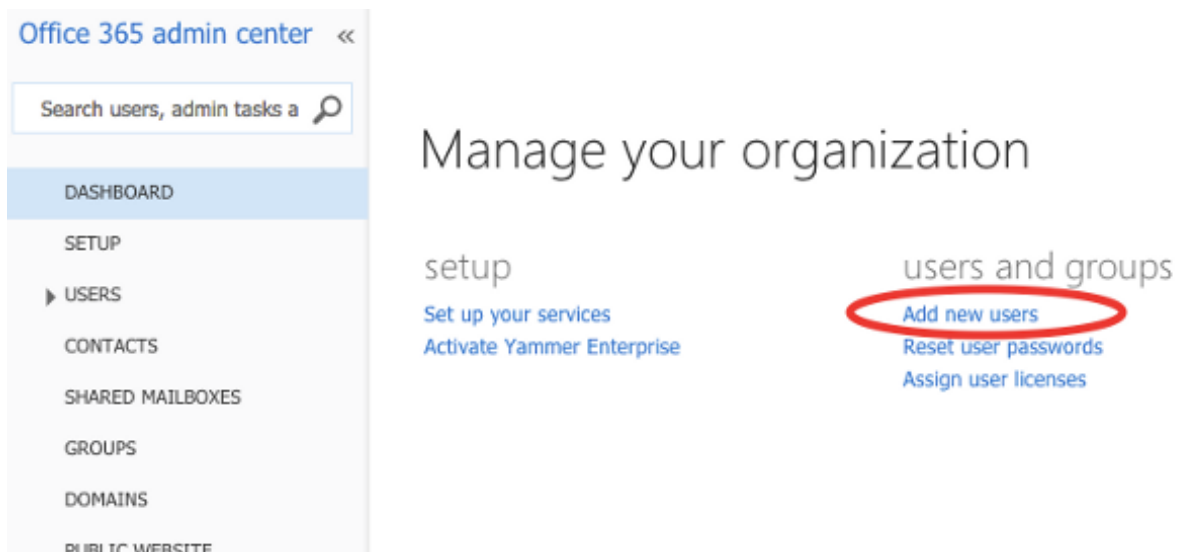
Office 365

Office 365で必要な手順は次のとおりです。

1. 管理者アカウントで[Office 365](#) [ポータル](#) にログインします。
2. Adminドロップダウンリストから、Office 365を選択します。



3. ダッシュボードでAdd new usersをクリックします。



4. 新しいユーザアカウントを作成します。これは、ユーザメールボックスにアクセスするためにCUCによって使用されるユニファイドメッセージングサービスアカウントです。

Create new user account

First name

Last name

Connection

UMService

* Display name

Connection UMService

* User name

um

@

calobjl.onmicrosoft.com

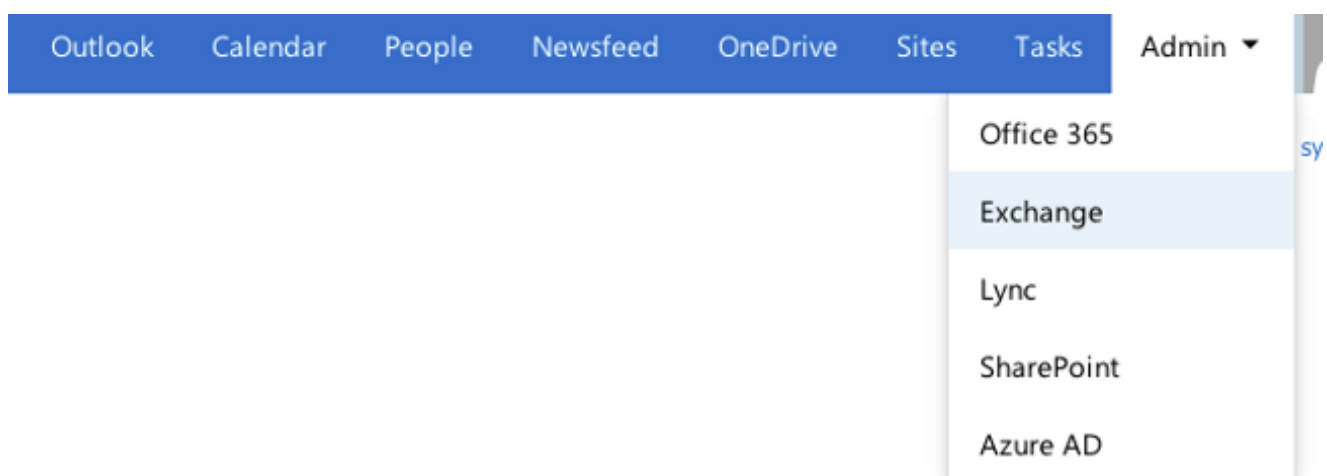
Auto-generated password | [Type password](#)

New password will be displayed in the next page

5. Users > Active Usersの順に選択して、ユーザアカウントを見つけます。



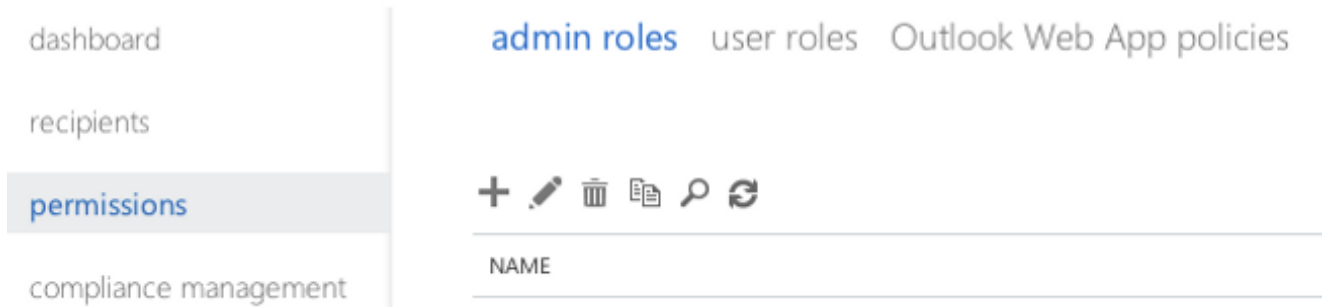
6. Adminド롭ダウンリストから、Exchangeを選択して、Application Impersonation権限を設定します。



7. Exchange管理センターで、permissionsを選択します。管理者ロールをクリックし、+記号

をクリックして、新しい管理者ロールグループメンバーシップを追加します。

Exchange admin center



8. 新しい役割グループを作成します。
 - a. Nameフィールドに名前を入力します。識別を容易にするために、これを ApplicationImpersonationRGと呼びます。
 - b. Descriptionフィールドに説明を入力します。これはオプションのフィールドです
 - c. Rolesセクションで、+記号をクリックして、ApplicationImpersonationを選択します。
 - d. メンバーセクションで、+記号をクリックしてumを選択します。これは、ユニファイドメッセージングサービスアカウント用に以前に作成されたユーザです。

new role group

*Name:

ApplicationImpersonationRG

Description:

Users associated with Application Impersonation Role for Unity Connection UM Service.

Write scope:

Default

Roles:



NAME
ApplicationImpersonation

Members:



NAME
um

CUCで必要な手順を次に示します。同じ手順が『[Cisco Unity Connectionリリース12.x以降のユニファイドメッセージングガイド](#)』に記載されています。

1. ユニファイドメッセージング(UM)サービスを作成します。
 - a. Unified Messaging > Unified Messaging Servicesの順に選択します。[Add New] をクリックします。
 - b. TypeフィールドにOffice 365と入力します。
 - c. Display Nameフィールドに、このUMサービスを識別するためのDisplay Nameを入力します。
 - d. Unity Connectionサーバがクラウド内のOffice 365サーバにアクセスできない場合は、[プロキシサーバ (アドレス : ポート)]フィールドにプロキシサーバアドレスを入力します。
 - e. Hosted Exchange ServersセクションでSearch for Hosted Exchange Serversを選択します。これは必須です。クラウド内のサーバのIPアドレスまたはホスト名が不明なため、ホストされているExchangeサーバがサポートされていないことを指定します。
 - f. Active DirectoryのDNSドメイン名フィールドに、Office 365から提供されたドメイン名を入力します。詳細については、「[Active Directory DNSドメイン名の選択](#)」セクションを参照してください。
 - g. 「Exchangeへのアクセスに使用するアカウント」セクションで、先ほど作成したユニファイドメッセージングサービスアカウント情報を入力します。
 - h. Service Capabilitiesセクションの選択項目はそのままにして、Saveをクリックします。

Edit Unified Messaging Service

Type

Enabled

Display Name*

Validate Certificates for Exchange Servers

Proxy Server(Address:Port)

Hosted Exchange Servers

Search for Hosted Exchange Servers

Active Directory DNS Domain Name*

Active Directory Site Name

Protocol Used to Communicate with Domain Controllers

Validate Certificates for Active Directory Domain Controllers

Specify the Hosted Exchange Server


Hosted Exchange Server*

Account Used to Access Exchange

Username*

Password*

注:1つのOffice 365ユニファイドメッセージングサービスで最大1,800人のユーザ

 を構成できます。1800人を超えるユーザーがOffice 365を使用できるようにするには、追加のユニファイドメッセージングサービスを作成します。

2. ユーザをユニファイドメッセージングサービスに関連付けます。
 - a. Users > Usersの順に選択します。Userを選択します。
 - b. Edit > Unified Messaging Accountの順に選択します。[Add New] をクリックします。
 - c. Unified Messaging Serviceフィールドで、ドロップダウンリストから新しく作成したサービスを選択します。
 - d. [ユーザの電子メールアドレス]フィールドに、Office 365メールボックスの電子メールアドレスを入力します。この電子メールアドレスは、導入モデルに基づいて user@<OrganizationDomainName>.onmicrosoft.comまたは user@<OrganizationDomainName>.comのいずれかにすることができます。
 - e. [Save] をクリックします。

Edit Unified Messaging Account

Unified Messaging Service

Service Type

Account Information

Use This Email Address

Use Corporate Email Address: None Specified







Service Capabilities

Access Exchange Email by Using Text to Speech (TTS)

Access Exchange Calendar and Contacts

Synchronize Connection and Exchange Mailboxes (Single Inbox)

- f. テストオプションを使用して設定を検証します。

Task Execution Results			
Severity	Issue	Recommendation	Details
	The validation results for the user unified messaging service account amavilak@calobgl.onmicrosoft.com with service Office365 are the following:		Service "Office365": AuthenticationMode=Basic [use HTTPS/no-validate] Search Domain=[outlook.office365.com] Site=[.] Types=[Exchange 2007/2010] [use LDAP] Username=[um@calobgl.onmicrosoft.com]
	Searching the network		Successfully connected to Exchange CAS server (https://outlook.office365.com/autodiscover/autodiscover.xml) from cache
	Found Exchange server		amavilak@calobgl.onmicrosoft.com will be accessed at Exchange CAS server outlook.office365.com
	Mailbox amavilak@calobgl.onmicrosoft.com was successfully accessed.		Connected to outlook.office365.com using EWS.
	The system successfully performed a calendar operation.		
	The connection time for the operation calendaring is 4.87 seconds.		

- g. すべてのユーザに対して同じ手順を繰り返します。一括管理ツール(BAT)を使用して

、すべてのユーザを一括して更新することもできます。詳細については、『[Unity Connectionに関するFAQ: Cisco Unity Connectionでユニファイドメッセージングを一括して割り当てる方法](#)』を参照してください。

3. UMを有効にします。

- a. Class Of Service > Class Of Serviceの順に選択します。
- b. Display Nameドロップダウンリストから、Voice Mail User COSを選択します。これは、すべてのユーザに関連付けられているデフォルトのサービスクラス(CoS)です。ユーザが別のCoSに関連付けられている場合は、適切な選択を選択します。
- c. Allow Users to Access Voicemail Using and IMAP Client and/or Single Inboxチェックボックスにチェックマークを付けます。
- d. 保存

Edit Class of Service

Display Name*

Recorded Name

Allow User to Record Name

Maximum Length Seconds

Directory Listing

Allow Users to Choose to Be Listed in the Directory

Greetings

Maximum Length Seconds

Licensed Features

Allow Users to Access Voice Mail Using an IMAP Client and/or Single Inbox

Allow IMAP Users to Access Message Bodies

Allow IMAP Users to Access Message Bodies Except on Private Messages

Allow IMAP Users to Access Message Headers Only

Allow Users to Use the Web Inbox and RSS Feeds

Active Directory DNSドメイン名を選択します

ドメイン名は、Office 365によって提供されるドメイン名です。<name>.onmicrosoft.comの形式で指定できます。この例では、メールボックスはcalobgl.onmicrosoft.comドメインにあります。

ユニファイドメッセージングサービスの設定では、ドメイン名としてcalobgl.onmicrosoft.comまたはoutlook.office365.comを使用します。どちらでも問題なく動作します。唯一の違いは、Unity Connectionがメールボックスを検出するために使用する自動検出URLです。

トラブルシューティング

この設定のトラブルシューティング手順はありません。

確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

関連情報

- [Cisco Unity Connection ユニファイドメッセージングガイドリリース14](#)
- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。